

代表質問の要旨

※本文は質問者自身の原稿によるものです

- 会 派 名
- 明 政 会
- 新 政 会
- 市民派連合
- 公 明 党
- 市政同志会
- 和 の 会
- 日本共産党

明 政 会

質問者 森川 雄三
 塩原政治・五味東條
 西條富雄・宮田伸子

持ち時間150分

住みよい塩尻市を目指して

◆地域の歴史文化を活かす

問 市の歴史や文化財に対する保護整備の実績は評価するが、観光事業や知名度アップに活かされていないと思うが。

答 有形文化財や重文、史跡、重伝建等、質・件数とも全国で有数の自治体と認識している。奈良井宿は「おひさま」ロケもそうだが全国への発信がこれまでもなされている。

問 平出遺跡が活かしきれないのは博物館が離れ過ぎている。遺跡付近に移転する構想は考えられないか。

答 平出地区にサインを計画し、町並みを散策しながら博物館への誘導を図る。考古博物館として価値を高めていると考える。

問 全国どこの遺跡でも博物館は遺跡のそばにある。観光

事業につなげるなら遺跡の近くへ移転すべきと思う。



整備された平出遺跡

◆質の高い福祉サービスの提供
問 中央及び北部地域包括支援センターの利用状況は。

答 平成22年4月から、北部地域包括支援センターを民間委託で開設した。年間相談件数は、中央では、1千163件、北部では936件、前年比1千147件増加している。また訪問件数は、中央では2千643件、北部では1千653件、前年比1千56件増で大幅に増えている。

問 利用者が増加傾向だが人員スタッフは十分か。また市直営と民間委託の中で、同一のサービスに配慮されているか、不都合や問題点はないか。
答 現在はスタッフの確保は出来ているが、主任ケアマネの確保は苦労している。サービスの質の確保については、

北部へ市の保健師を1名派遣し同一のサービスの確保に努めている。特に問題はない。

◆ゴミ焼却施設の広域化

問 平成24年4月に松本西部広域施設組合との広域化を目指すとしているが現況は。

答 今秋までに協議を終え、2市2村による調印を行い、12月には規約に係る審議を願う、来年3月には現組合の解散の運びとなる。

問 焼却場が、松本になると塩尻市民にとって、ごみの持ち込みに対する負担が増す。負担軽減のための中間持ち込み施設等の考えは。

答 現在のクリーンセンターを、中継基地として検討しているが、地元理解をいただくよう協議を進めている。

◆ハザードマップの作成

問 大震災もあり、時期を得たと考える。どのようなマップの作成か。

答 地震・洪水・土砂災害等の発生時に住民の円滑かつ迅速な避難の確保のため、それぞれマップを作成し、それらを一体的にまとめたマルチハザードマップとして作成予定。また想定外の事態のないような内容にしたい。A4判冊子で全戸配布する。